

病気の治療とともに 働く人のためのワークブック

実行計画・戦略



職場に伝えていくこと・面接の質問

(在職中で継続就労を目指す方)

ここまで、このワークブックを使って振り返ってきたなかで、治療前とは働き方に変化があったり、職場に配慮してほしいことがあると気づいたら、今度はその伝え方を考えましょう。

ここでは、職場に話してもよいと思える内容を記入してください。すべてをありのままに伝える必要はありません。



現在の体調は？



仕事に差し支えることはある？



何か配慮が必要なことはある？



この先、休んだりすることはある？



復職ということは、完全に治ったんだよね？



どうして残業できないの？



頻繁にトイレで休憩しているって聞いたけど…？



そのポジションだと、職責が果たせないんじゃない？



ほかの業務に移ることは考えないの？

職場に伝えていくこと・面接の質問

(新しい仕事に就くことを目指す方)

初対面の採用面接官に対応するとき、治療のことをどこまで話すか、あるいはまったく話さないかは、人それぞれです。

詳しい事情を知らない面接官は、あなたがどのように会社に貢献できる人材なのかを見極めるために質問をすることでしょう。

どう答えるのか、じっくり考えてみましょう。



前の仕事はどういった事情で辞めたのですか？



前の仕事を辞めてから、
しばらく仕事をしていない期間があるようですが、なぜですか？



仕事をしていない期間は、どう過ごしていましたか？



健康状態はいかがですか？



過去に大きな病気をした経験はありますか？



3か月は試用期間です。
半年間は有休がありませんが、勤務に問題はないですか？

自己PRを考えましょう。

1 あなたはその職を得たら、どんなふうに能力を発揮できそうですか？

2 なぜ、そう思いますか？ 経験の裏付け、エピソード、価値観などで補足してください。
